

作成年月日 2024（令和6）年 12 月 20 日

社会福祉法人 あづみの森
障害者生活支援センターあおぎり
放課後等デイサービス
支援プログラム

〒722-0042 広島県尾道市久保町181-1 番地

TEL：0848-20-7551

FAX：0848-20-7552

概 要

社会福祉法人 あづみの森

障害者生活支援センターあおぎり

○放課後等デイサービス（重心）

- ・定 員：5名
- ・営 業 日：月曜日～金曜日・第1土曜日・第3土曜日
- ・営業時間：10：00～18：30（平日）
8：30～17：00（土曜日・長期休業中）
- ・療育時間：14：30～17：30（平日）
9：00～15：00（土曜日・長期休業中）
- ・送迎実施：あり（要相談）
- ・療育内容：集団・個別療育（日常生活訓練・機能訓練・レクリエーションなど）

○日中一時支援事業

- ・定 員：10名
- ・営 業 日：月曜日～金曜日・第1土曜日・第3土曜日
- ・営業時間： 8：30～18：00（平日・長期休業中）
8：30～17：00（土曜日）
- ・療育時間： 8：30～18：00（平日・長期休業中）
8：30～15：00（土曜日）
- ・送迎実施：あり（要相談）
- ・療育内容：日常生活支援
健康管理
日中活動支援
相談及び援助

「あおぎり」理念

インクルージョン理念の実現のために

- ・フロンティアでありたい
- ・人材育成
- ・すべては利用者のために

支援方針

○児童に対しての発達支援、家庭連携、学校連携を行うことで、学校、地域など社会での児童の適応する力を高めます。

○自分自身、周囲、環境にとって相互に円滑な関係が築けるよう、より社会的かつ適応的なスキル（＝ソーシャル・スキル）を身につけられるよう支援を行います。

○個々の得意なことと苦手なことの把握（＝アセスメント）に努め、得意なことを伸ばし、苦手なことをどう克服していくのかを本人、家族と一緒に考えていきます。

デイリープログラム

時刻	プログラム	
	平日	土曜日・長期休業中
9:00～	—	登所・自由時間
10:00～	—	机上活動
10:30～	—	始めの会 設定活動①
11:40～	—	昼食
12:20～	—	自由時間
13:15～	—	設定活動②
14:10～	—	振り返り
14:30～	登所・自由時間	降所
～15:40		
15:40～	始めの会 おやつ 設定活動	—
16:50～	振り返り	
17:00～	降所/帰宅待機	—

主な療育内容

○機能訓練（言語聴覚士）の実施。

言語聴覚士による機能訓練により、嚥下や咀嚼。

○身の回りの生活自立機能を高める。

日常生活動作の機能向上を図っていくと共に、色々な生活体験を通して“やってみよう”“できた”を積み重ねながら社会的自立を目指していきます。

○余暇・交友関係の充実を図る。

色々な遊びを提案する中で、楽しめる遊びや興味を持てる遊びを増やし、余暇の時間の充実を図ります。また、人と関わる中で他者理解を深め、友好関係がスムーズに築けるように支援していきます。

5領域	支 援 内 容
健康・生活	・来所時に体温測定に加え、表情や顔色を見ながら、健康観察を行い健康状態の確認をする。 ・自分の健康状態を知り、視覚物などを利用しながら意思表示出来るようにしていく。 ・基本的な生活スキルの向上を図り、自分で出来る事を増やす。 食事：長期休業中の昼食時間を使って、食具の使い方や偏食、好き嫌い、食事のマナーなどについて支援していく。 排泄：時間誘導や排泄後の後始末など個々に取り組みを行う。 着脱：来所後の着替え方など、個々に取り組みを行う。
運動・感覚	・日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や運動・動作の改善や習得を図る。 ・粗大運動や微細運動の活動を取り入れ、ボディーイメージの形成や身体の使い方、力加減など、技能の向上を目指す。 ・保有する感覚を十分に活用できるように、活動を通して支援を行う。
認知・行動	・発達段階に合わせたグループ活動を行う中で、個々の特性・理解度に合った支援を行い、「できた」「分かった」を積み重ねながら認知機能の発達を促す。 ・個別・集団活動の中で、情報の取得がしやすいように視覚物（目で見て分かる物）を使用し、自らの行動に繋がれるように支援する。 ・物事の受け取り方や考え方を知らせ、気持ちや行動のコントロールが出

	来るように支援を行う。
言語・コミュニケーション	・児童の発達に合わせたコミュニケーション手段（ジェスチャー、絵カード、言葉など）の獲得を目指すと共に能力の向上を支援する。 ・具体的な物事や体験等と言葉の意味を結び付ける等により言語の習得や自発的な発声を促すように支援する。 ・多様なコミュニケーション手段を活用し、より円滑なコミュニケーションが図れるように支援する。
人間関係・社会性	・自分について（性格や行動の特徴など）理解を深めると共に、気持ちや情動のコントロールが出来るように支援をする。 ・社会の中で、自分とは異なる考えや価値観があることを知り、その中でどう関係性を築いていくのかを学べるように支援する。 ・人と関わる上でのルールやマナーを学習した上で、遊びや集団活動に参加出来るように支援する。

ご家族・地域との連携

<家族支援>

○ご家庭との連携

- ・家庭訪問や懇談を通して、保護者との連携を図ります。
- ・送迎やお迎えの時間、連絡帳などを活用して子育て（きょうだい児含）に関する困り事への相談に応じます。また、必要に応じて、関係機関との連携・情報提供などを行います。

<地域支援・地域連携>

- ・児童に関わる関係機関と共通した支援目標やゴールイメージを持てるように必要に応じて連携を行います。
- ・尾道市との定期的な情報共有や地域の自立支援協議会へ積極的に参加し、市及び地域の関係機関との連絡体制を確保します。

<職員の質の向上>

- ・医療/看護等の知識も含めて、支援に必要な研修の機会を確保します。

主な行事

月	行事	月	行事
4月		10月	
5月		11月	
6月		12月	・冬休み ・クリスマス会
7月	・夏休み	1月	・冬休み ・避難訓練
8月	・夏休み ・避難訓練	2月	
9月		3月	・春休み ・作品展